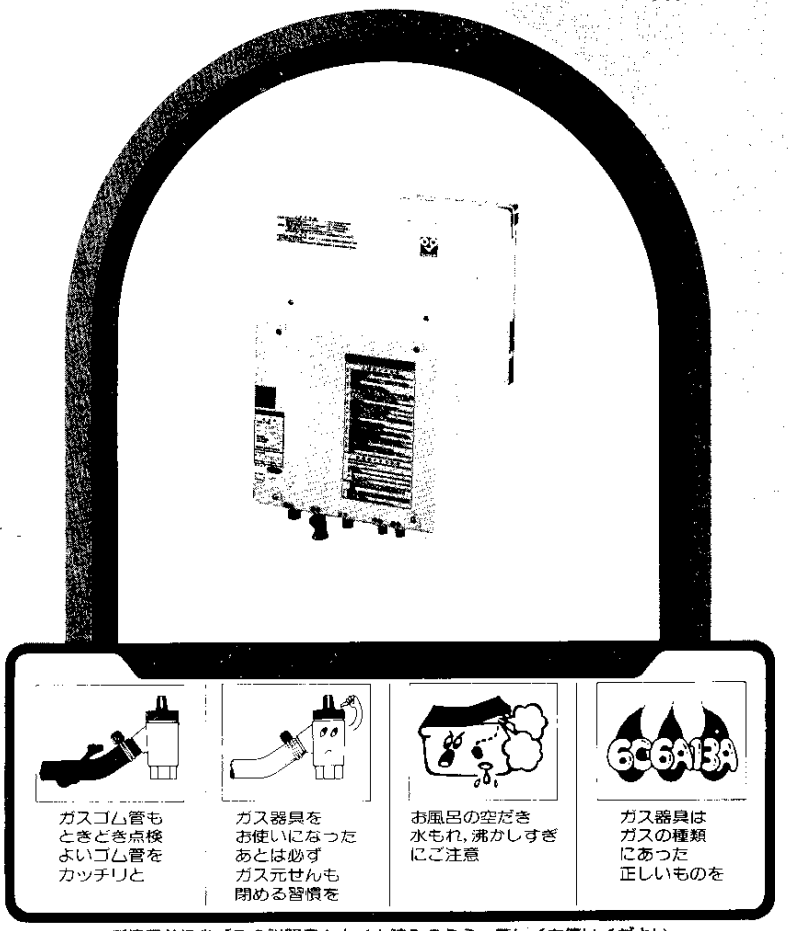
大阪ガス

パックイン 外壁貫通設置型
取扱説明書 31-750型

保証書付

形式名 WF-80



●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ，正しくお使いください。
なお，ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは，大阪ガスのパックインをお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに，この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

●特に注意していただきたいこと……2
●各部の名称……5
●ご使用方法・ご使用上の注意……7
●凍結防止について……13
●安全装置が作動したときの処置法……14
●日常の点検・お手入れ……15
●故障・異常の見分け方と処置方法……17
●仕様……18
●外形寸法図……19
●アフターサービスのお申し込み……20

特に注意していただきたいこと

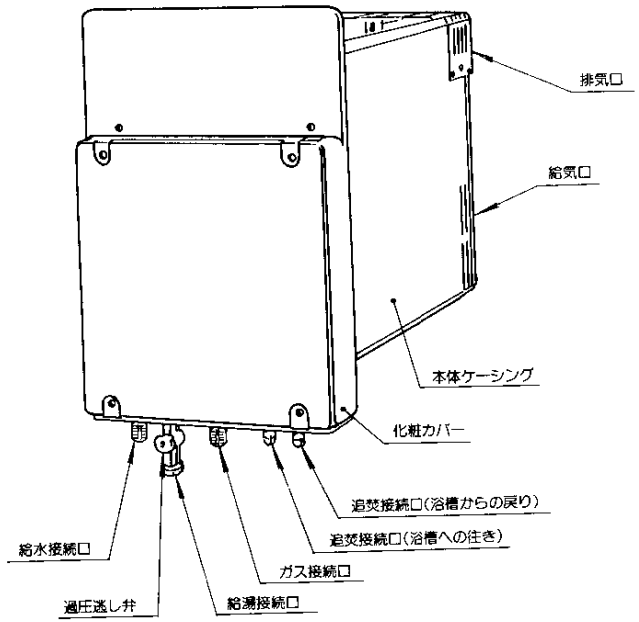
項目	注意していただきたいこと	説明
使用上のご注意	**—ガスもれ予防—** ●使用時の点火，消火のほか，使用中には，燃焼していることを時どき表示ランプで確かめてください。 ●お寝みのときや長期間使用しないときは必ずガスの元せんを閉めてください。	だいたい色に点灯 風呂燃焼中 給湯燃焼中 閉める ガス元せん
	—万一ガスのにおいがしたら— ●ガスもれに気づいたときは，すぐに使用をやめてガス元せんを閉めて大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。 ※万一，ガスがもれたときは，絶対に火をつけたり，電源プラグの抜き差し，スイッチの入・切をしないでください。	大阪ガス支社 サービスステーションへ連絡を スイッチの入切 火をつける プラグの抜き差し ガス
	—火災予防について— ●排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。 ●給排気口にタオル・ふきんなどをのせないでください。 ●火をつけたままで就寝・外出は絶対にしないでください。	塗料

特に注意していただきたいこと

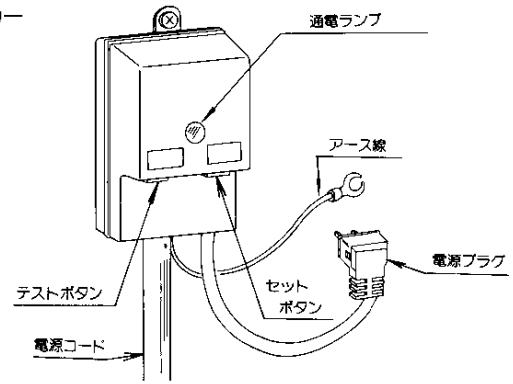
項目	注意していただきたいこと	説明
使用ガス	●器体（銘板）に表示してあるガスの種類以外のガスでは使用しないでください。 ●その他のガスは絶対に使用しないでください。異常燃焼をおこします。	WF—80 屋　外　用 都市ガス用　13A　12A 最大13A　25000kcal/h 12A　24000kcal/h ふろ13A　10000kcal/h 12A　9500kcal/h 定格電圧　AC 100V 定格消費電力 135W 定格周波数　60Hz ← ガスの種類 銘板の例 (13A12A)
使用電源	●AC 100V 50Hz以外の電源では使用しないでください。 ●漏電ブレーカ　を取りはずして使用しないでください。 ●電源プラグ（漏電ブレ　カ　）は，必ず浴室外のコンセントに差し込んでください。	漏電ブレーカー アース 電源プラグ
設置・使用場所	詳しくは工事説明書をお読みください。 ●工事説明書に従って，安全な位置に正しく設置されているか確認してください。 ●この機器は外壁貫通設置式ですから必ず外壁に貫通して設置し，給排気が直接屋外で行えるようになっていることを確かめてください。	工事説明書 屋外 排気口 給気口

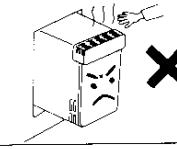
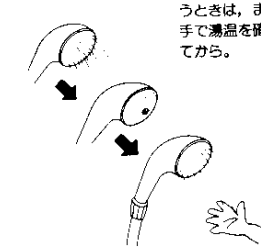
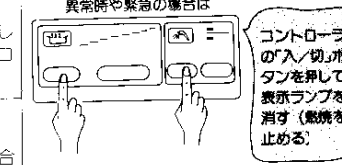
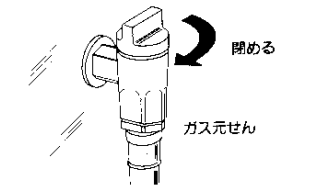
各部の名称

■本　体



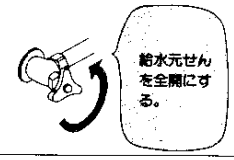
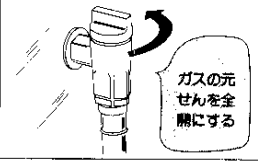
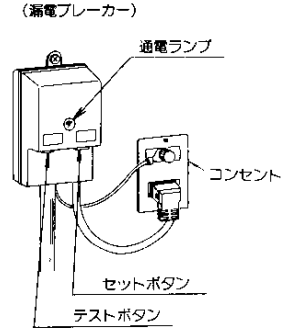
■漏電ブレーカー



項目	注意していただきたいこと	説　明
使用上のご注意	**火傷のご注意** ●使用中および使用直後は，機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。	
	シャワー使用について ●シャワー，上がり湯をご使用になって湯を止めた直後や，風呂の追い焚きをした直後に再度シャワーをお使いになるときは，いきなり体や頭にはかけずに手で湯温を確認してからお使いください。	湯を止めた直後に再びシャワーを使うときは，まず，手で湯温を確かめてから。 
	凍結予防 ●この機器は凍結を予防するヒータが付いています。凍結のおそれのある期間にはコンセントから電源プラグ（漏電ブレーカー）を抜かないでください。	
	落雷について ●雷が発生しているときは，使用を中止して，電源プラグ（漏電ブレーカー）をコンセントから抜いてください。	異常時や緊急の場合は  コントローラの"入／切"ボタンを押して表示ランプを消す（燃焼を止める）
	異常時の処理 ●万一，異常を起こしたときや緊急の場合には，あわてずにコントローラのボタンを押して表示ランプを消し，ガス元せんを閉めて，燃焼を停止してください。	 閉める ガス元せん
	浴用薬品・洗剤の使用 ●この機器は，熱交換器が銅製なので硫黄酸，アルカリを含んだ健浴剤や洗剤を使用しないでください。	
日常の点検　手入れ	●必ず日常の点検手入れを行ってください。 ……詳しくは，'5ページ「日常の点検・お手入れ」をお読みください。	

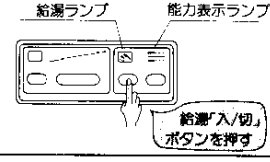
ご使用方法

■点火する前の準備と確認

項　目	操　作　方　法	ポ　イ　ン　ト
1.準　備	①給水元せんをいっぱいにあける。 ●給湯せん・シャワーせんを開けて通水することを確認してから，給湯せん・シャワーせんを閉めてください。	
	②ガスの元せんを開ける。	
	③電源プラグ(漏電ブレーカー)をコンセントに差し込み，次のことを確かめる。 a)セットボタンが押し込まれていること，通電ランプが点灯していることを確かめてください。 b)テストボタンを押してください。 ●通電ランプが消え，セットボタンが戻ります。 c)再びセットボタンを押し込んでください。 ●通電ランプが点灯します。 漏電ブレーカーの確認a)～c)は必ず月に1回以上行ってください	

給湯・シャワーの使いかた

■点火のしかた

項　目	操　作　方　法	ポ　イ　ン　ト
1.コントローラの操作	①コントローラの給湯「入／切」ボタンを押す。 ●給湯ランプが「みどり色」に点灯します。 ●能力表示ランプが点灯します。	

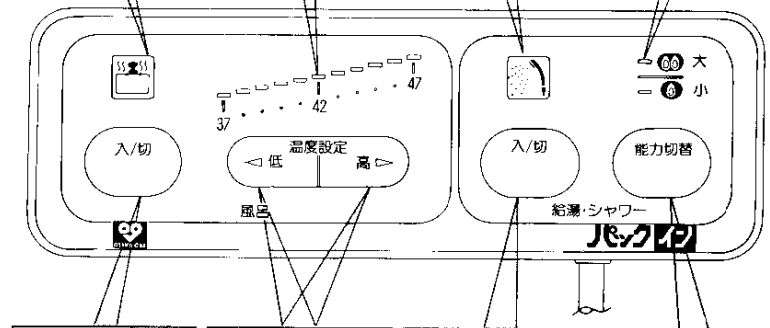
■コントローラ

風呂ランプ
- 風呂「入　切」ボタンを押すと「みどり色」に点灯します。
- 燃焼すると「だいだい色」に替わります。

温度設定ランプ
- 風呂の沸き上がり設定温度が表示されます。
- 浴そうの湯温が設定温度になると自動的に消火します。

給湯ランプ
- 給湯「入／切」ボタンを押すと「みどり色」に点灯します。
- 燃焼すると「だいだい色」に替わります。

給湯能力表示ランプ
- 設定された給湯能力が表示されます。
- 大…… 8.2号
  小…… 3.3号



風呂「入／切」ボタン
- ボタンを押すと風呂ランプが点灯し風呂運転になります。

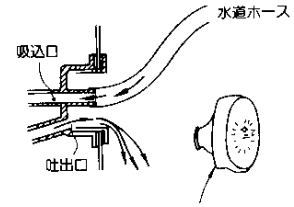
沸き上がり温度設定ボタン
- ボタンを押すと設定温度が替わります。
- 「低」を押すたびに1段階づつ低くなります。
- 「高」を押すたびに1段階づつ高くなります。

給湯「入／切」ボタン
- ボタンを押すと給湯ランプが点灯し給湯・シャワーの使用が可能になります。

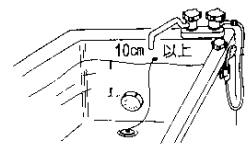
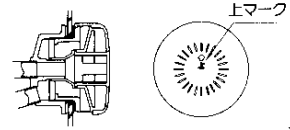
能力切替ボタン
- ボタンを押すたびに給湯能力が「小」→「大」→「小」→「大」…と切替わります。

ご使用方法

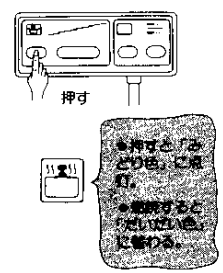
風呂の使いかた

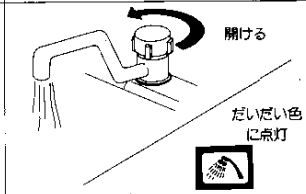
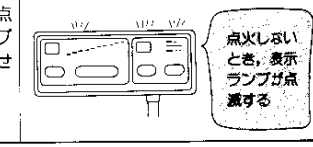
はじめて使用する場合	●はじめて風呂を使用する場合には，次の要領でポンプの呼び水をしてください。 ①フロアダプターキャップをはずす。 ②フロアダプター中央の吸込口に水道ホースを差し込み，吐出口から連続して水が出るまで通水する。 ③通水し終ったらフロアダプターキャップを元通りに取付ける。 ●フロアダプターキャップは「上マーク」を必ず上にして取付けてください。	

■点火する前の確認

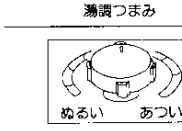
項　目	確　認　の　内　容	ポ　イ　ン　ト
1.水位確認	●浴そうの湯(水)がフロアダプターより10cm以上あることを確かめてください。	
2.フロアダプターの確認	●フロアダプターが確実に取り付けられていること，キャップの向きが正しいことを確かめてください。	

■風呂の点火

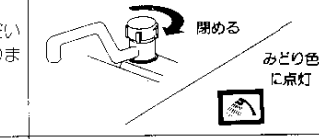
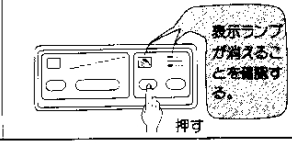
項　目	操　作　方　法	ポ　イ　ン　ト
1.点　火	①風呂「入／切」ボタンを押す。 ●風呂ランプが「みどり色」に点灯します。同時に温度設定ランプが点灯します。 ●ポンプの循環運転が始まり，配管内の空気が吐出されると，自動的に点火し燃焼を開始します。同時に風呂ランプが「みどり色」から「だいだい色」に替わります。	

項　目	操　作　方　法	ポ　イ　ン　ト
2.給湯せんを開ける	①給湯せん又はシャワーせんを開ける。 ●自動的に点火し，給湯ランプが「みどり色」から「だいだい色」に替わってお湯が出ます。 ※配管内の水が出てしまうまですぐにはお湯が出ません。	
3.点火しないとき	①給湯せん又はシャワーせんを開けても点火しないときは，約10秒後に表示ランプが点滅します。給湯せん又はシャワーせんを閉めて操作しなおしてください。	

■湯温調節・能力切替のしかた

1.湯温調節	①湯調ツマミを回して最適の湯温に調節する。 ●右にまわすと湯量が少なくなって，あつくなり，左にまわすと湯量が多くなって，ぬるくなります。	
2.能力切替	①湯調ツマミを回しても好みの湯温が得られない場合は，能力切替ボタンを押して，給湯・シャワーの能力を切替える。 ●能力切替ボタンを押す毎に，小→大→小→大……と切替わります。	

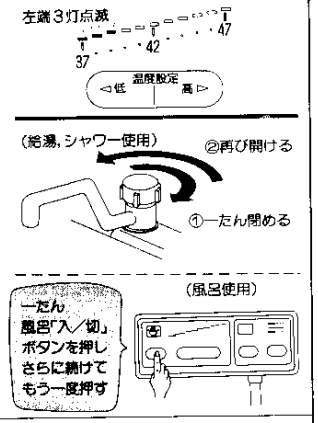
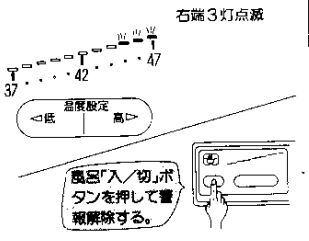
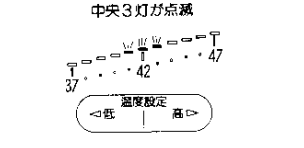
■消火のしかた

1.給湯せんを閉める	①給湯せん又はシャワーせんを閉める。 ●自動的に消火し，給湯ランプが「だいだい色」から「みどり色」に替わります。	
2.コントローラの操作（長時間使用しない場合）	①コントローラの給湯「入／切」ボタンを押す。 ●給湯ランプが消えます。 ②ガスの元せんを閉める。	

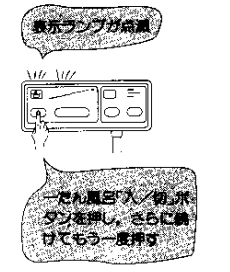
ご使用方法・使用上のご注意

警報について

次のような場合には表示ランプが点滅して警報状態となります。

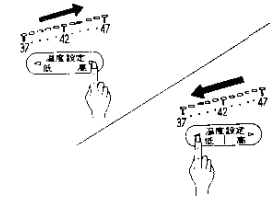
項　目	内　　容	説　　明
1.温度設定ランプ左端3灯が点滅	①バーナに点火しなかった。 ●ガス元せんが開いていることを確かめてください。 ●給湯・シャワー使用のときは，一たん給湯せん・シャワーせんを閉めたあと再び開くか，給湯「入／切」ボタンを押して警報を解除したあともう一度給湯「入／切」ボタンを押してください。 ●風呂使用のときは，風呂「入／切」ボタンを押してください。	
2.温度設定ランプ右端3灯が点滅	①浴そうに水がない。循環ポンプの呼び水がされていない。 ●風呂「入／切」ボタンを押して警報を解除してください。 ●浴そうに水を入れてください。あるいは9ページ「はじめて使用する場合」の要領でポンプの呼び水をしてください。	
3.温度設定ランプ中央3灯が点滅	①安全装置がはたらいた。 ●給湯「入／切」ボタンあるいは，風呂「入／切」ボタンを押して警報を解除してください。 ●再使用するときは，30秒以上まってから操作してください。	

※再使用できなかったり，ひんぱんに警報になる場合には，お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

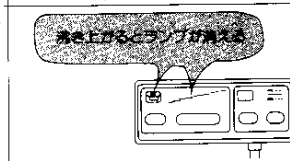
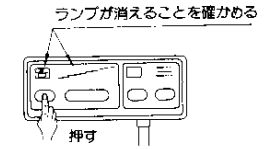
項　目	操　作　方　法	ポイント
2.点火しないとき	①約10秒後に表示ランプが点滅します。 一たん，風呂「入／切」ボタンを押し，さらに続けてもう一度風呂「入／切」ボタンを押します。	

■風呂沸き上がり温度の設定

風呂沸き上がり温度は温度設定ランプで表示されます。

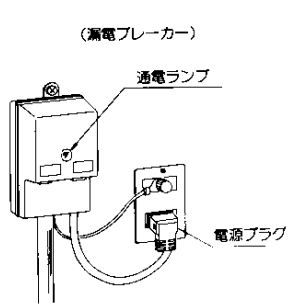
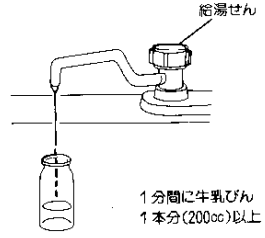
項　目	操　作　方　法	ポイント
1.温度設定	①高い温度に設定する場合 「高」ボタンを押すたびに1段階づつ上がります。 ②低い温度に設定する場合 「低」ボタンを押すたびに1段階づつ下がります。 ●表示の温度は37～47(℃)ですが，数値は目安としてお使いください。	

■風呂の消火

項　目	操　作　方　法	ポイント
1.沸き上がり自動停止	①浴そうの湯温が設定温度になると自動的に消火します。 ●風呂ランプ・温度設定ランプが消えます。約30秒後にポンプが停止します。	
2.消　火	①沸き上がり自動停止する前に消火したい場合には，風呂「入／切」ボタンを押す。 ●消火し，風呂ランプ，温度設定ランプが消えます。約30秒後にポンプが停止します。	

冬期の凍結による器具の破損防止について

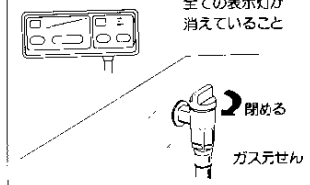
冬期は寒冷地だけでなく，**暖かい地方でも急な寒波のため**に熱交換器などの通水部分の水が凍って**器具が破損**したり，使用できなくなることがありますので次のような**処置**を必ず行ってください。

項　目	凍結防止の方法	説　明
1.低温作動ヒーターによる方法	●この機器は，外気温が下がってくると自動的に機器内を保温するヒーターを組み込んでいます。 ●低温作動ヒーターはコントローラのボタン（スイッチ）に関係なく作動します。電源プラグ（漏電ブレーカー）がコンセントに差し込まれていること・漏電ブレーカーの通電ランプが点灯していることを確かめてください。 ●ヒーターによる凍結予防は補助的なものです。外気温が極端に低く（－5℃程度）の場合は，「2.通水による方法」を行ってください。	
2.通水による方法	●停電時はヒータが作動しませんので，通水により凍結を防止してください。 **操作手順** ①ガスの元せんを閉める ②給湯せんを開けて少量の水を流す。 ○１分間に牛乳びん１本分(200cc）以上を流してください。ただし凍結防止に必要な通水量は気温，風，水温等によって変わりますから，特に寒い日，風の強い日は多めに出してください。 ○水を流す場合は浴そうなどにためて雑用水としてお使いください。 ○また，流量が不安定なことがありますので念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。	

■もし凍結したときは

- 器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかる場合が有ります。（有償）
- 凍結により給湯せん，シャワーせんから水が出ない，風呂の水が循環しないときは，使用しないでください。凍結したままご使用になりますと，器具に異常が生じ危険ですので絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は，必ず十分に水が流れるのを確かめてからお使いください。
- 器具や配管から水もれするなどの異常がある場合はガス元せん，給水元せんを閉めて，また風呂の排水せんを抜いてからお買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

使用上のご注意

項　目	ご　注　意	説　明
1.使用時	●はじめて使用される場合や長期不在のあとなどガス配管内に空気がたまっていてすぐに着火しないことがあります。ガス配管内の空気が抜けるまで，点火操作を繰り返してください。 ●給湯せん・シャワーせんは必ず全開にして使用してください。 ●給湯せん・シャワーせんを絞ったり水圧が下がるとバーナーの炎が消えますが，これは空だきを防ぐための装置がはたらいたためで，故障ではありません。 ●風呂を長時間使用したあとシャワーを使いますと，はじめに熱い湯が出ますのではじめの湯は，絶対に身体にあてないでください。 ●機器内に長時間たまっていた水は，飲用または調理に用いないでください。	
2.使用後	●就寝前や長時間ご使用にならない場合には，コントローラの全ての表示ランプが消えていることを確かめてください。 ●ガスの元せんを閉めてください。 ●冬期は，凍結防止のための処置（くわしくは13ページ）を行ってください。	
3.停電したとき	●この器具は電気で作動しますので停電中は使用できません。 ●停電中は全ての動作を停止します。通電再開後も自動的に運転されませんので7ページ「ご使用方法」に従って再操作してください。 ●通電再開後，風呂湯き上がり温度は「42」給湯能力は「小」に設定されます。	

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中にバーナーが消火し，表示ランプが点滅したときは，安全装置が作動しています。
- 給湯使用中は，給湯せん，シャワーせんを閉め**給湯「入／切」ボタン**を押してください。
- 風呂使用には，**風呂「入／切」ボタン**を押してください。

安全装置名	安全装置のはたらき	処置方法
立ち消え安全装置	点火時の不着火や，使用中の万一の吹き消えなどによる消火のときには，安全装置がはたらいて，自動的にガスが止まり，ランプが点滅します。(温度設定ランプは左側3灯が点滅)	●給湯せん・シャワーせんを閉めて給湯「入／切」ボタンを押す。風呂使用のときは，風呂「入／切」ボタンを押す。 ●再使用するときは，30秒以上待ってから操作してください。
沸騰防止装置（給湯）	万一，給湯用熱交換器が空だき状態になったとき，安全装置がはたらいてガスを止めて消火します。このときランプが点滅します。(温度設定ランプは中央3灯が点滅)	●熱交換器が自然に冷えるのを待ってから再通水し，水もれしていないことを確かめてから再点火してください。
空だき安全装置（風呂）	浴そうに水がない場合や，ポンプが自吸できず水が流れない場合，自動的にガスが止まりランプが点滅します。(温度設定ランプは右側3灯が点滅)	●風呂「入／切」ボタンを押す。 ●再使用するときは，浴そうに水があることを確認してください。 ●9ページの「はじめて使用する場合」の要領でポンプの呼び水をしてください。
過熱防止装置（温度ヒューズ）	使用中，器具に異常が生じて器具内の温度が異常に上昇したとき，過熱防止装置がはたらいてガスをとめて消火します。(温度設定ランプは中央3灯が点滅)	●部品交換をしなければ再使用できません。お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。
過圧逃し弁	万一，給湯用熱交換器内の圧力が異常に上昇したとき，逃し弁がはたらいて内圧を下げて熱交換器の破損を防ぎます。	●沸騰音と共に蒸気が噴き出るときは給湯「入／切」ボタンを押して，一たん使用を停止してください。 ●再使用するときは，熱交換器が自然に冷えるのを待ってから再通水してください。

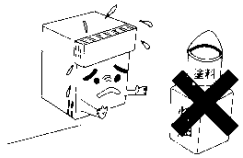
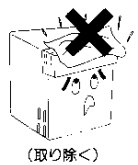
※たびたび，安全装置がはたらいてランプが点滅するようでしたら，器具の点検が必要ですからお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
※器具の調子がおかしいときは，17ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」も読んで正しい処置をしてください。

日常の点検・お手入れ

■点検・手入れの際のご注意

- いつまでも安全・快適にご使用いただくために，日ごろの点検・手入れを行ってください。もし異常が見つかった場合にはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- 点検・手入れのまえには，必ずガス元せん，給水元せんをしめ，電源プラグ（漏電ブレーカー）をコンセントから抜き，機器が冷えてから行ってください。
- 機器の安全装置，ガスの通路部分，電気回路は絶対に分解しないでください。

■点検のしかた

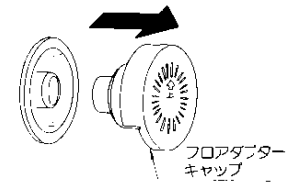
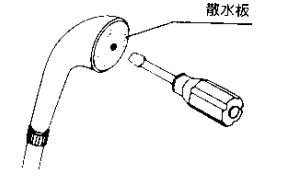
項目	点検内容	ポイント・処置
1.可燃物，危険物の点検	●機器の上や，まわりに燃えやすいものがありませんか。	 (燃えやすいものを取り除く)
	●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。	 (取り除く)
2.ガスもれ注意	●ガスのにおいはしませんか。	大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。
3.水もれ予防	●機器や配管から水もれしていませんか。	お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

現象 ＼ 原因	表示ランプが点灯しない	点火しない	点火しにくい	使用中に消火する	異常な音をたてて燃える	かま鳴りがする	沸き上がりが遅い	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	ガスの臭いがする	処置方法
ガス元せんが開いていない		◎									ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開きが不十分		○	○					○			全開にする
ガス配管内に空気が残っている		◎	○								空気が抜けるまで点火操作する
ガス圧が適切でない		○	◎	○	○		○				
ノズル・ガス配管のつまり		◎	○				○	○		○	
使用ガスと器具の銘板が不一致		○	○	○	○		○	○			
電源プラグが抜けている	○	○									電源プラグを差し込む
停電している	○	○									回復するまで待つ
点火装置の故障		◎									
安全の装作置動 立消え安全装置		○		○							14ページを参考にして処置してください。
安全の装作置動 空だき安全装置		◎		◎							
安全の装作置動 過熱防止装置		○		○							
安全の装作置動 沸騰防止装置		◎		◎							
循環パイプ内の詰まり											詰まりを取り除く
フロアダブターキャップがはずれ循環しない				○							正しく取付ける
浴そう水量が少ない											フロアダブターから10cm以上水を入れる
浴そう水量が多すぎる							○				※異常ではありません
給水元せんが開いていない											給水元せんを全開にする
給水元せんの開きが不十分		○		○					○	○	給水元せんを全開にする
水圧が低すぎる											水道局課に調査依頼
給湯せんの開きが不十分		○		○					○		全開にする
シャワーヘッドのごみ詰まり											掃除をする（16ページ）
能力切替・湯温調節が不適切								○	○		8ページを参考にしてください
凍結している											解凍まで使用を中止する

※上の表で、◎印の場合は警報（コントローラ表示ランプの点滅）になります。
※ぐあいの悪いときは、上の表を参考にして処置してみてください。上表の中で処置方法が空欄になっている故障の場合は自分で修理なさらずに、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。
※不完全な修理は事故のもとになります。

■手入れのしかた

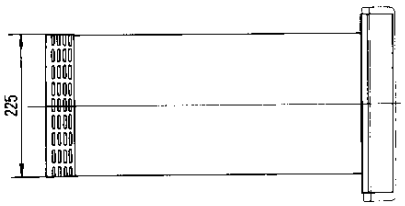
項目	手入れのしかた	ポイント
機器外観 コントローラケース	●汚れは、水またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきしてください。 ●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。 ●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。 ●コントローラケースには熱湯や洗剤をかけないでください。	
フロアダブター	●表面の汚れや詰まりは、スポンジなどで取り除いてください。 ●汚れや詰まりがひどい場合にはフロアダブター キャップをはずし、水道水で洗ってください。 ●フロアダブター キャップの取り付けは、Oリングが必ず上になるようにして取り付けてください。	
シャワーヘッド	●シャワー をお使いになっていて湯が出にくくなったときは、シャワーヘッドにごみが詰まっていることがありますので、散水板を取り外して掃除してください。	

定期点検のおすすめ

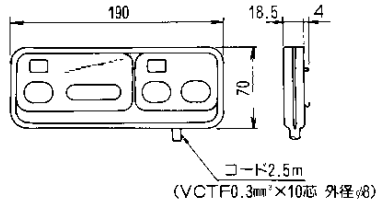
ご使用上支障がない場合でも不慮の事故を防ぎ安心してより長くご使用いただくために定期点検を年に１回程度，お買い求めの販売店または大阪ガス支社へ依頼してください。なおこの場合実費をいただきます。

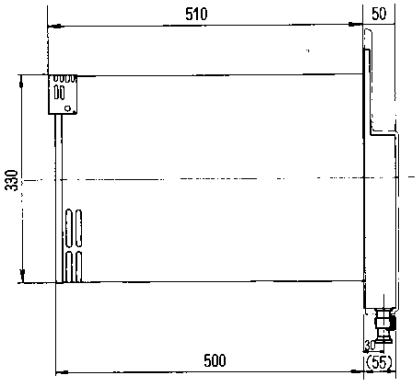
外形寸法図

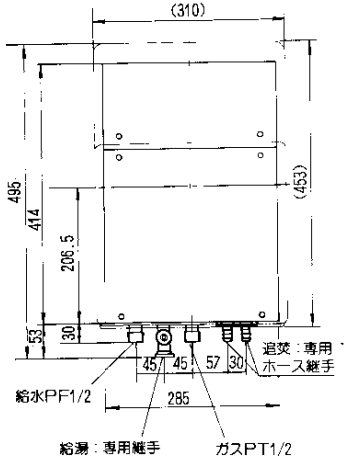
■本　体



■コントローラ







仕　様

外形寸法(本体)		幅310×高495×奥行565			
壁貫通部寸法		幅225×高330×奥行510			
重量		25kg			
ガス種		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
標準ガス消費量	風呂	2.36㎥/h	0.96㎥/h	1.51㎥/h	0.83kg/h
	給湯	3.66	1.48	2.34	1.29
	風呂+給湯	5.91	2.39	3.78	2.08
接続寸法	ガス	PT1/2（強化ガスホース仕様）			
	給水	15A（PF1/2Bオネジ）			
	給湯	専用継手（13mm）			
	風呂循環	13mm耐熱ホース			
安全装置		立消え安全装置・沸騰防止装置 空だき防止装置・風圧安全装置 過圧逃し弁・過熱防止装置 低温作動ヒーター 漏電ブレーカー			
電気定格	電源	AC100V　60Hz			
	消費電力	最大135W（低温作動ヒーター80W）			
最低作動水圧		0.3kg/㎠			
付属部品		漏電ブレーカー付電源コード，コントローラ(コード・取付金具付) フロアタプターセット(循環ホース・締付バンド付)，本体取付金具一式			

■出湯能力

ガス種	標準号数(号)		温度上昇と標準出湯量〔ℓ/分〕				
			15(deg)	25	30	40	50
都市ガス	能力大	8.2	(13.7)	8.2	6.8	5.1	4.1
LPガス	能力小	3.3	5.5	(3.3)			——

※上記性能は，ガス種・ガス圧などの違いにより，変化することがあります。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大 阪06 (202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪06 (652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目8番35号	☎大 阪06 (301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎ 堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高 槻0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西 宮0798(26)3101
東都支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京 都075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町篠津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡0796(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草 津0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町9番41号	☎彦 根0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長 浜0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ・風呂販売店

大阪ガス株式会社

7341726 KB

アフターサービスのお申し込み

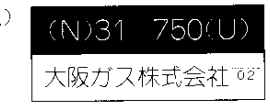
■サービスのお申し込み

- 17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ，それでも不具合の場合，あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ，もしくは大阪ガス支社，サービスステーションにご連絡ください。なお，ご連絡いただくときは，次のことをお知らせください。

(1)品名……(バックイン)

(2)品番……前面右上部に貼付してあります。

(例)



(3)現象……(できるだけ詳しく)

(4)道順……(できるだけ詳しく)

■転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には，部品の交換や調整が必要となりますので，転居先のガスの種類を確認の上，大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合，調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

■保証書について

- この器具には保証書がついています。
  このガス風呂釜は保証書に記載のように，器具の故障について修理いたします。
  詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと，無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので，この取扱説明書とともに大切に保管してください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め，窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。